



まだまだ朝晩の冷え込みは続きますが、日中の陽ざしは少しずつ暖かくなり過ごしやすい季節ももう目の前です。これから日増しに春らしくなってきますが、季節の変わり目でもあり、まだまだ寒暖の差が大きい時期です。1年間のしめくくりの修了式を元気に迎えられるように体調を整えましょうね。

さて、3月3日はご存知のとおり「耳の日」です。お子さんは、症状がうまく伝えられずついつい見過ごされがちです。言葉を獲得する大切な時期でもあるので、耳の健康について気をつけていきましょう。

早期発見！！子どもに多い中耳炎

中耳炎ってどんな病気かな？

中耳炎は、耳の中にある中耳がはれたり、痛んだりする病気です。急激に炎症がおきる「急性中耳炎」、炎症が長く続く「慢性中耳炎」、耳の中に貯留液がたまって耳の聞こえが悪くなる「分泌性中耳炎」があります。

どうして中耳炎になるの？

中耳や上咽頭（鼻の奥からのどの上のあたり）をつないでいる耳管を通じて、鼻やのどからバイキンが入り込み、炎症が起こります。子どもは耳管が短くまっすぐなため、すぐに細菌が伝わってしまいます。放っておくと、難聴になってしまうこともあるため注意が必要です。

中耳炎にかからないために

風邪をひいて鼻水がたまっていると、耳管の入口が刺激され、中耳炎になりやすくなります。

風邪をひかないように、「よく食べ・よく体を動かし・ぐっすり眠る」ことが大切です。

そのほかにも・・・次のことに気をつけましょう。

①耳あかをためず、いつも清潔に



②耳を爪でひっかいたり、強く引っ張らない。



③鼻をかむときは、片方ずつ静かに

④定期的に耳の検査を



⑤プールやお風呂で水が入った時は、きちんと出す。

子どもの「聞こえ」チェック

「聞こえてるかな？」と心配になったら確認してみましょう！！

- 大きな音に驚いたり、目を覚ます
- おもちゃの音に振り向く
- 周囲の呼びかけに振り向く
- 音楽に合わせて踊る
- 身振りなしで、声だけでの指示が分かる
- 発達にそって、習得することばが増えている

※もし聞こえの心配がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう！



林のつぶやき・・・

早いもので、今年度も後残り1か月となりました。気づけば保育課に配属されてから2年が経ちます。少しずつ慣れてきたところですが、異動したばかりの時は緊張の連続でドキドキしっぱなしだったことが思い出されます。

新年度を控え、お子さんも「ひとつお兄さんお姉さんになる」と誇らしい気持ちもある中、不安定になる時期でもあります。今までは見られなかったのに、指しゃぶりや爪かみ・目をパチパチさせる(チック)・どもりなどが見られた場合は、もしかしたらストレスを感じている可能性もあるので、ゆっくりお子さんと過ごす時間を作ってみてください。



3月の健診のお知らせ

★4か月児健診（受付 9:00～10:30）
毎週火曜日：5、12、19、26日

★1歳6か月児健診（受付 12:50～14:00）
毎週水曜日：6、13、27日

★3歳児健診（受付 12:50～14:00）
毎週木曜日：7、14、21、28日

場所：保健所・保健センター
（中野町字中原「ほいっぷ」内）
問合せ先：☎39-9153

※対象者の方には、ご自宅へ健診日の1か月前に健診票を郵送します。
ご案内の日時に健診を受けてください。

